



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

瀬戸ロータリークラブ会報

2021年6月2日発行 第2794号

本日のプログラム

2021年6月2日(水)

通算第2971回例会

本年度第38回

WEB例会

例会次第

- ・開会点鐘
- ・会長挨拶
- ・報告事項
- ・卓話 パスト会長 寺田 悟君
「ロータリー回顧」

前回例会 記録

2021年5月26日 第2970回例会

WEB例会

- ・出席報告 53名中 34名
出席率 64.15%

例会予定

6月9日(水)

WEB例会

クラブフォーラム

6月16日(水)

WEB例会

報告事項 2021.05.26(水)

1.幹事報告

- ①6月2日(水)はWeb例会です。
- ②6月2日(水)13時30分より、瀬戸商工会議所 大会議室にて第12回定例会理事会(今年度の理事会)を開催します。ご案内は明日配信予定です。

2.次年度幹事報告

- ①本日、13時30分より、瀬戸商工会議所 大会議室にて第2回クラブ協議会を開催します。出席理事・役員・委員長は定刻までにお集まりくださいますようお願いいたします。
- ②6月3日(木)13時30分より、瀬戸商工会議所 大会議室にて第2回次年度理事会を開催します。理事役員の方は定刻までにお集まりください。

第2970回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆さんこんにちは、本日は瀬戸ロータリークラブ第2970回の例会です。今日はジェンダー問題とロータリーについてお話をさせていただきます。

今年の春ごろ前東京オリンピック組織委員会委員長の森喜朗氏が女性蔑視発言で辞任することになりました。特に近年ジェンダー問題がいろいろな分野で取り上げられており、今回のこの騒動が火に油を注いだ状態になったわけです。

もともと2012年第二次安倍内閣の目玉政策として女性の活躍が取り上げられ、2015年には「女性活躍推進法」が制定されました。これは政府の機関はもとより企業に女性の登用を義務づけたものでした。これにより2012年には女性役員の比率が1.6%であったものが、2020年には6.2%に上昇しました。しかし諸外国の20%~40%にはまだ遠く及びません。

皆様もジェンダーギャップ指数という言葉を知られたことがあると思いますが、これは政治、経済、教育、健康の4つの分野での男女の格差の比率を表したものです。2012年度の段階では日本は156カ国中101位でしたが、2020年度では120位に後退しております。日本も少しずつは女性地位が向上しておりますけれども、それ以上に諸外国では

女性の活躍や社会進出が進んでいる表れであります。G7の中では最低であり、もっと改善されていかなくてはなりません。

ロータリーも1905年に男性4名で始めたわけですが女性に正式に入会が認められたのは1989年の規定審議会で、実に84年の歳月がかりました。アメリカから発祥したロータリーもその頃はまだ女性の社会進出がなく、長い間男性社会の典型であったわけです。2020年の女性ロータリアンの数は277,000人(全体の23%)であり、世界的には女性ガバナーも見受けられるようになりました。日本では女性会員が20%に達していません。それでもすでにいろいろな地区で女性ガバナーが輩出されておりますが、一番会員数の多いこの2760地区ではまだ女性ガバナーが輩出されておられません。因みにRIでは2022~2023年度に初めて女性会長が排出される事になりました。カナダの方でジェニファーE ジョーズ氏という方です。丁度アフターコロナの時期であり、いろいろな意味で変革されて行くことに期待したいと思います。それと合わせて当2760地区もそう遠くないうちに女性ガバナー誕生も夢ではないと思っています。

